

器 12 理学診療用器具
一般医療機器 止血器 70678000

タニケツトタッチ TT20

【禁忌・禁止】

- 次の患者には使用しないこと〔重篤な不具合、有害事象が発現する恐れがある。〕
 - ・ 上肢または下肢の開放性骨折
 - ・ 外傷の長時間経過後の手再建
 - ・ 重度の圧挫損傷
 - ・ 肘部手術（強度の膨張がある場合）
 - ・ 重度の高血圧
 - ・ 皮膚移植
 - ・ 血液循環障害（末梢動脈疾患など）
 - ・ 糖尿病
 - ・ 鎌状赤血球症（細胞の鎌状赤血球化に起因する強い術後疼痛がおこる恐れがある。）
 - ・ 固定術後の二次的手術
- 使用方法
 - ・ 無血手術野を作り出すために、患者の上肢または下肢の血流を一時的に閉塞するためのみに使用すること。
 - ・ ダブルカフや2つのシングルカフを併用する場合の膨張、収縮の手順を熟知した上で使用すること（誤って違うかカフを緩めてしまうと死亡などの重篤な障害が患者に生じる恐れがある。）
- 併用医療機器
 - ・ 弊社が指定した製品以外との併用はしないこと（相互作用の項参照）。

【形状・構造及び原理等】

本添付文書に該当する製品の製品名、製品番号、サイズ等については包装表示ラベルまたは本体の記載を確認すること。

1. 構成

●本体

品名	カタログ番号	個数
タニケツトタッチ TT20 本体	01-20-000	1

●付属品一覧

品名	カタログ番号	個数
オートクレーブ対応延長チューブ（赤）	20-20-942	1
オートクレーブ対応延長チューブ（青）	20-20-944	1
気密テスト用プラグ	22-50-406	2
電源ケーブル	01-00-470	1

●オプション品一覧

品名	カタログ番号
TT20用 モバイルスタンド(バスケット付)	01-00-100
オートクレーブ対応延長チューブ（赤）	20-20-942
オートクレーブ対応延長チューブ（青）	20-20-944
シングルカフ オートクレーブ 新生児用	20-64-700
シングルカフ オートクレーブ 小児用	20-64-710
シングルカフ オートクレーブ 成人上肢用	20-64-611
シングルカフ オートクレーブ 成人上肢用(大)	20-64-612
シングルカフ オートクレーブ 成人下腿用	20-64-512
シングルカフ オートクレーブ エキス 成人下肢用	20-64-522
シングルカフ オートクレーブ エキス 成人下肢用(大)	20-64-527
シングルカフ オートクレーブ エキス 成人下肢用(特大)	20-64-528

品名	カタログ番号
ダブルカフ オートクレーブ 成人腕用	20-60-711
ダブルカフ オートクレーブ 成人腕用(大)	20-60-712
ダブルカフ オートクレーブ 成人下肢用	20-60-722
シングルカフ 小児用	20-54-710
シングルカフ 成人腕用	20-54-711
シングルカフ 成人腕用(大)	20-54-712
シングルカフ エキス 成人下肢用	20-54-522
シングルカフ エキス 成人下肢用(大)	20-54-527
シングルカフ エキス 成人下肢用(特大)	20-54-528
ダブルカフ 小児用	20-50-710
ダブルカフ 成人腕用	20-50-711
ダブルカフ 成人腕用(大)	20-50-712
ダブルカフ 成人下肢用	20-50-722
ダブルカフ 成人下肢用(大)	20-50-727
CPCコネクター 栓 (5個入り/袋)	SLZM30
CPCコネクター 皿 (5個入り/袋)	SLZF30
ソリューションラップ (10個入り/袋)	22-60-000

原材料：一般電気部品等

- 本品の構成品及び付属品は、補充・修理のために単体で輸入・販売されることがあります。

2. 外観及び寸法・重量

タニケツトタッチTT20 本体



寸法（幅×高さ×奥行 mm）：263×186×226
重量（Kg）：4.5

オートクレーブ対応延長チューブ（赤）、（青）



気密テスト用プラグ



電源ケーブル



3. 機器の分類

電撃に対する保護の形式による分類：Class I 型機器
電撃に対する保護の程度による装置の分類
(IEC60601-1)：B型装着部※

※本装置は IEC60601-1 において、B 型装着部と定義

取扱説明書を必ずご参照下さい。

されます。装着部に関するすべての要求事項（漏れ電流の絶縁など）を満たしています。

4. 電気的定格

定格電圧	100-240V
交流/直流の別	リチウムイオンバッテリー (14.4V-93.6Wh) (交流電源の供給が遮断された場合、自動的にバッテリーによる駆動に切り替わります。)
周波数	50~60Hz
消費電力(最大)	130VA
ヒューズ	2×Littelfuse215 シリーズ : T2, 5AH, 250V

5. 作動・動作原理

上肢又は下肢の手術において、手術開始後、直ちに止血処置が可能なように、止血器用カフを患者の手術する部位の近傍に予め巻いておきます。

内蔵されたポンプによりカフへ空気を送りカフを膨張させ上肢又は下肢の血管を圧迫することにより、血液の上肢又は下肢への流入をブロックし、術中の出血を減少させます。

【使用目的、効能又は効果】

使用目的

再使用可能な止血帯（カフ）に送気し、術中の止血帯の圧力を設定・制御・維持することで術中の出血を減少させます。

【品目仕様等】

1. 性能

- (1) 動作気圧：100kPa
- (2) 圧力調節範囲：80~500 mmHg (5 mmHg 刻み)
- (3) 圧力制御精度：0/+5 mmHg (設定値に対して)
- (4) 表示精度：±5 mmHg
- (5) アラーム
 - 1) タイマー：15~120分(5分刻み)で設定可能
(アラーム音およびアラーム表示)
 - 2) 音量：1m離れた場所で60~88db (A)
 - 3) 異常アラーム：
アラームが修正された場合またはアラームの原因が解消した場合、アラームは自動的に解除されます。別のアラームがさらに発生したときには、優先度が同じまたは高いアラームが表示されます。
 - 優先度の高いアラーム
アラーム音：3秒間隔でアラーム音が10回
アラーム表示：赤色で点滅
 - 優先度の中程度のアラーム
アラーム音：4秒間隔でアラーム音が3回
アラーム表示：黄色で点滅
 - 優先度の低いアラーム
アラーム音：16秒間隔でアラーム音が2回
アラーム表示：黄色で点灯
 - 4) アラーム音が発生中にアラーム音一時停止ボタンを押すことにより、30秒間一時的にアラーム音を消すことができます。

2. 環境条件

- (1) 運搬条件：温度 -20℃~+60℃
湿度 5~95% (相対湿度) 結露なきこと
周囲気圧 70~106kPa
- (2) 保管および動作条件：温度 +10℃~+35℃
湿度 30~95% (相対湿度) 結露なきこと
周囲気圧 70~106kPa
圧力単位換算：1hPa=1.01973cmH₂O=0.75006mmHg

【操作方法又は使用方法等】

1. 使用準備

- (1) 電源ケーブルをコンセントに差し込み、本機器のVロックインレットコネクタに接続します。

(接地線付きプラグに差し込むこと。(電撃のリスク防止のため))。

- (2) 延長チューブを装着の圧出力コネクタに接続します。
- (3) 電源ボタンをタッチしてTT20を起動させるとセルフテストが自動的に行われます。テストには約30秒かかります。以下のセルフテストが実行されます。
 - ・内臓安全機能
 - ・チャンネル1およびチャンネル2用圧縮空気的一次および二次供給
 - ・すべてのデータ記憶装置
 - ・バッテリー
 - ・ソフトウェアおよびハードウェアのバージョン
 - ・すべてのアラーム音システム
- (4) セルフテストが完了すると、ディスプレイにメイン画面が表示されます。準備完了です。

2. 操作

シングルカフ接続時の使用方法



- (1) 患者の上肢または下肢を挙げたり、エスマルヒ駆血帯を末梢側 (Distal) から中枢側 (Proximal) へ巻き上げたりして、脱血します。
- (2) カフを患者の上肢または下肢に巻きます。カフは、患者に合った適切なサイズを選択して下さい。カフの下にパッドを挟むことを推奨いたします。
- (3) カフの接続チューブを延長チューブに接続します。デュアル (ダブル) カフを使用する場合、赤色のカフ接続チューブを装置の右側 (赤)、青色の接続チューブを左側 (青) に接続します。
- (4) 適切なカフ圧を設定します。
- (5) アラーム時間 (加圧予定時間) を設定します。
(設定時間に達するとアラーム致しますが、カフ圧は維持します。)
- (6) ↑ (右側使用の場合は↑) ボタンにタッチし、加圧します。
- (7) 手術を開始します。手術中は、現在の圧力を常にモニタリングしてください。
加圧経過時間と加圧予定時間が時間表示領域に表示されます。
- (8) セッション終了後にスライダー ↓ (右側使用の場合は↓) を左へスライドして、カフから完全に排気します。
- (9) 静脈がうっ血しないように、カフの下に挟んだパッドとシングルカフを上肢または下肢からすぐに外します。
- (10) カフの接続チューブを延長チューブから外します。
- (11) 本機器のメイン画面が消えるまで電源ボタンにタッチして、本機器の電源を切ります。この時点で電源プラグをコンセントから抜いてかまいません。
- (12) 汚染の危険性を下げるために、使用後に毎回本機器を消毒することを推奨します。

両側手術における2個のシングルカフ接続時の使用方法 手順は以下の点を除いて、シングルカフ接続時の使用方法と同じです。

- (1) 他方の上肢または下肢に、2つ目のチャンネルを使用します。
- (2) シングルカフを両方とも加圧すると、それぞれのシングルカフの現在の圧力と加圧経過時間が表示されます。
- (3) 片側の上肢または下肢の手術が終了する場合は、必

取扱説明書を必ずご参照下さい。

ず、対応するチャンネルの排気を行ってください。
他方のチャンネルの排気を誤って行くと、上肢または下肢で出血するおそれがあります。

ダブルカフ接続時（IVRA）の使用方法

手順は以下の点を除いて、シングルカフ接続時の使用方法と同じです。

- (1) ダブルカフのみ使用ください。
- (2) ダブルカフの完全な排気が誤って行われることがないように、IVRAモードをオンにしてください。
- (3) VBM製ダブルカフを使用する場合は、青色のカフブラダーを中側に、赤色のカフブラダーを抹消側巻くことを推奨します。
- (4) 麻酔導入後は、中毒反応を起こさないようにするため、無血手術野を20分以上維持してください。
- (5) 麻酔の効果が持続している間に加圧中のカフブラダーの圧力が低下した場合は、2つ目のカフブラダーをすぐに加圧してください。

【使用上の注意】

1. 熟練したもの以外は本機器を使用しないで下さい。

2. 本機器を設置するときは、次の事項に注意して下さい。

- (1) 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分等を含んだ空気などにより悪影響の生じるおそれのない場所に設置すること。
- (2) 水のかからない場所に設置すること。
- (3) 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など、安定状態に注意すること。
- (4) 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置しないこと。
- (5) 電源の周波数と電圧及び消費電力が定格を超えないように注意すること。
- (6) 電源コードは、3Pコンセント（接地形2極コンセント）に接続すること。

3. 本機器を使用する前には、次の事項に注意して下さい。

- (1) アースが完全に接続されていることを確認すること。
- (2) すべてのコードの接続が正確かつ安全であることを確認すること。
- (3) 患者に直接接続する外部回路を再点検すること。

4. 本機器の使用に際しては、次の事項に注意して下さい。

- (1) 処置に必要な時間を越えないよう注意すること。
- (2) 本機器全般および患者に異常の無いことを絶えず監視すること。
- (3) 本機器および患者に異常が発見された場合には、患者に安全な状態で本機器の作動を止めるなどの適切な措置を講ずること。
- (4) 本機器に患者が触れることのないよう注意すること。
- (5) 本機器は500 mmHgまでカフを加圧できますが、カフの製造元が保証するこの値を超えて加圧しないこと。
- (6) 患者へのカフ装着には次の事項に注意すること。
 - 1) 必要に応じて、カフの下に柔らかい「あて物（パッド、綿紙等）」を巻きつけること。
 - 2) カフは、カフ面がしわにならないよう、皮膚に均等に接触させること。
 - 3) カフ圧を上げた時、しわやずれが起こらないようにカフが均等に皮膚を圧迫していることを確認する。
 - 4) 局所的な高圧や刺激がないように充分注意すること。（特に小さいカフの場合）

5. 本機器の使用後は、次の事項に注意して下さい。

- (1) 定められた手順により使用前の状態に戻した後、電源を切ること。
- (2) コード類の取り外しに際しては、コードを持って引き抜くなど無理な力をかけないこと。
- (3) 付属品、コード類は清浄した後、整理してまとめておくこと。
- (4) カフのチューブは折りたたまないこと。

6. 故障したときは勝手にいじらず適切な表示を行い、本機器は専門家に任せて下さい。

7. 本機器は改造しないで下さい。

8. 重要な基本的事項

- (1) 常に十分に校正されて、使用可能な状態になっていなければならない。付属品・オプション品の濡れおよびその他の欠陥・欠損を定期的にチェックすること。
- (2) 使用前に正しく操作できるよう、付属品を含め本機器を点検すること。
- (3) 本機器は耐除細動形ではありません。
- (4) 本機器は電源をすぐに遮断できる状態で設置してください。
- (5) 本機器にはリチウムイオンバッテリーが搭載されています。バッテリーの損傷が疑われる場合は、本機器を使用しないでください。
- (6) 本機器を電源に接続したまま放置したり使用をし続けた場合、損傷が原因となって発火する恐れがあります。バッテリーは約3時間で満充電（約8時間稼働）となります。
- (7) 爆発する危険性があるため、可燃性の麻酔ガスのすぐ近く（距離が25cm未満）や酸素濃度が25%を超える環境下では装置を使用しないでください。
- (8) 本機器の設置の際には、EMC要件を考慮してください。他の装置のEMC特性によっては、本機器が他の装置に干渉するおそれ、または他の装置が本機器に干渉するおそれがあります。
- (9) 送気した状態のカフをずらして使用しないこと（せん断力が生じ、カフの下にある組織を損傷するおそれがある）。
- (10) 水泡形成などの皮膚の機械的損傷を防ぐため、カフはシワの寄らないように取り付けること。
- (11) 鎌状赤血球病や鎌状赤血球形質の患者に使用前に、ヘモグロビン型及びヘモグロビン量を検査すること。このような患者に使用する場合、体肢の瀉血を慎重に行い、 PO_2 とpHを綿密にモニターすること。
- (12) 弾性包帯を使用した瀉血中は、カフが遠位にずれるのを防ぐためカフと弾性包帯の間を2.5cm開けること。包帯をカフの上まで巻きつけるとカフの効果は低減するので注意すること。
- (13) 慎重かつ完全な瀉血により無痛止血時間が延長されるという報告がある。ただし、残留血流が血管構造の可視化と識別に役立つ場合は部分瀉血が望ましい。
- (14) 感染症や有痛骨折がある場合、ギプス包帯施術後及び悪性腫瘍による切断後は、カフ（止血帯）を装着する前に体肢を3～5分上へ上げて弾性包帯を使用せずに瀉血を行う。
- (15) 瀉血によって細菌、外毒素または悪性細胞が全身循環に広がる恐れがある場合、あるいは血管に形成されている血栓を移動させる恐れがある場合は、瀉血に弾性包帯を使用しないこと。
- (16) 動脈および静脈を可能な限り同時に閉塞するため、カフへの送気は迅速に行うこと。
- (17) 手術用照明などにより発生する熱は止血帯コントロール下の体肢では放散しないため、組織が乾燥したり外相を受ける恐れがある。熱損傷のリスクを低減するために、頻繁なイリゲーションや低出力手術用照明の使用による対策が推奨される。
- (18) 長時間にわたる虚血は組織、血管および神経の一過性ないし永久損傷につながるおそれがある。止血帯麻痺は、過度の圧力起因する場合がある。圧力が不十分な場合は受動性鬱血を引き起こし、ひいては不可逆的な機能損失を生じる恐れがある。また、止血時間が長すぎると、全凝固時間が長くなり、血液の凝固性が変化することもある。
- (19) 膨張が不完全であったり不適切であった場合は、カフの空気を完全に脱気して、体肢の瀉血を行ってか

取扱説明書を必ずご参照下さい。

- ら再度送気すること（血管に血液が充満した状態で再送気すると、血管内血栓につながる恐れがある）。
- (20) 浸潤麻酔または静脈内麻酔を使用する場合、麻酔薬が体肢組織に確実に吸収されるようにカフを最低15分間膨張したままにすることが推奨されている。数分間の手術の場合はカフを急速に数回膨張、収縮させると麻酔薬の早すぎる流出を防ぐことができる。

9. 適切なカフサイズの選択

カフ近位部分の患者体肢の周囲を計測し、適切なカフを選択すること。

カタログ番号	品名	適用周囲長
20-64-700	シングルフット オートクレープ 新生児用	~20cm
20-64-710	シングルフット オートクレープ 小児用	18~30cm
20-64-611	シングルフット オートクレープ 成人上肢用	25~35cm
20-64-612	シングルフット オートクレープ 成人上肢用 (大)	32~46cm
20-64-512	シングルフット オートクレープ 成人下腿用	32~46cm
20-64-522	シングルフット オートクレープ エキス 成人下肢用	42~61cm
20-64-527	シングルフット オートクレープ エキス 成人下肢用 (大)	55~76cm
20-64-528	シングルフット オートクレープ エキス 成人下肢用 (特大)	70~86cm
20-60-711	ダブルフット オートクレープ 成人腕用	25~35cm
20-60-712	ダブルフット オートクレープ 成人腕用 (大)	32~46cm
20-60-722	ダブルフット オートクレープ 成人下肢用	42~61cm
20-54-710	シングルフット 小児用	18~30cm
20-54-711	シングルフット 成人腕用	25~35cm
20-54-712	シングルフット 成人腕用 (大)	32~46cm
20-54-522	シングルフット エキス 成人下肢用	42~61cm
20-54-527	シングルフット エキス 成人下肢用 (大)	55~76cm
20-54-528	シングルフット エキス 成人下肢用 (特大)	70~86cm
20-50-710	ダブルフット 小児用	18~30cm
20-50-711	ダブルフット 成人腕用	25~35cm
20-50-712	ダブルフット 成人腕用 (大)	32~46cm
20-50-722	ダブルフット 成人下肢用	42~61cm
20-50-727	ダブルフット 成人下肢用 (大)	55~76cm

10. 適切なカフ圧の設定

- (1) 上肢で300mmHg、下肢で400mmHgを超えない値で加圧することを推奨します。
- (2) 推奨タニケット圧の計算式および推奨加算値は次の通りです。

推奨タニケット圧 (mmHg)

= 患者の収縮期血圧値 (mmHg) + 推奨加算値 (mmHg)

カタログ番号	品名	推奨加算値 (mmHg)
20-64-700	シングルフット オートクレープ 新生児用	120
20-64-710	シングルフット オートクレープ 小児用	150
20-64-611	シングルフット オートクレープ 成人上肢用	150
20-64-612	シングルフット オートクレープ 成人上肢用 (大)	150
20-64-512	シングルフット オートクレープ 成人下腿用	150
20-64-522	シングルフット オートクレープ エキス 成人下肢用	200
20-64-527	シングルフット オートクレープ エキス 成人下肢用 (大)	200
20-64-528	シングルフット オートクレープ エキス 成人下肢用 (特大)	200
20-60-711	ダブルフット オートクレープ 成人腕用	120
20-60-712	ダブルフット オートクレープ 成人腕用 (大)	150
20-60-722	ダブルフット オートクレープ 成人下肢用	200
20-54-710	シングルフット 小児用	150
20-54-711	シングルフット 成人腕用	150
20-54-712	シングルフット 成人腕用 (大)	150
20-54-522	シングルフット エキス 成人下肢用	200
20-54-527	シングルフット エキス 成人下肢用 (大)	200
20-54-528	シングルフット エキス 成人下肢用 (特大)	200
20-50-710	ダブルフット 小児用	150

20-50-711	ダブルフット 成人腕用	150
20-50-712	ダブルフット 成人腕用 (大)	150
20-50-722	ダブルフット 成人下肢用	200
20-50-727	ダブルフット 成人下肢用 (大)	200

11. 相互作用 (他の医療機器等との併用に関する事)

併用禁忌 (併用しないこと)

弊社が指定した製品 (付属品一覧およびオプション品一覧) 以外との併用はしないこと (専用品でない設計・開発方針が異なるため、適合しないおそれがある)。

12. 不具合・有害事象

(1) その他有害事象

- 1) 使用後、体肢全体にうずくような鈍痛 (止血帯痛)、脱力感、強ばり、反応性充血および皮膚の変色が起こる場合がある。
- 2) 組織の圧迫、低酸素症、高炭酸症およびアシドーシスに起因する病的変化がタニケット使用後30分~1時間で起こる場合がある。
- 3) 術中出血の原因としては以下があげられる。
 - ・手術開始時に静脈還流を阻害する、加圧してないカフおよびパッドによるインピーダンス効果
 - ・漏血が不十分であったために体肢に残留していた血液
 - ・静脈還流を防ぎながらも動脈血を流入させる、不適切な止血帯圧力 (患者の収縮期血圧値と拡張期血圧値の間)、遅い膨張及び収縮など
 - ・長骨 (上肢部など) の栄養動脈からの血液の流入

(2) その他不具合

- 1) 動作不良
- 2) 画面表示異常
- 3) アラームの異常鳴動

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 保管場所については、次の事項に注意して下さい。

- (1) 水のかからない場所に保管すること。
- (2) 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分等を含んだ空気などにより悪影響の生じるおそれのない場所に保管すること。
- (3) 傾斜、振動、衝撃 (運搬時を含む) など、安定状態に注意すること。
- (4) 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。
- (5) カフは緩く巻いた状態か平らに伸ばした状態で保管すること。巻いて保管する際は、絶対にきつく巻かないこと。

2. 耐用期間

本体 : 5年
 付属品 : オートクレープ対応延長チューブ 4年
 機密テスト用プラグ 5年
 電源ケーブル 5年
 [自己認証 (当社データによる)]

【保守・点検に係る事項】

1. 保守に係る事項

本機器および部品は、必ず定期点検 (1年毎が望ましい) を行うようメーカーに依頼して下さい。

2. 清掃・消毒

- (1) 本体は、自動であっても手動であっても、滅菌はできません。
- (2) 本体は液体に浸けないでください。
- (3) 拭き取りによる消毒
 - 1) 電源ボタンにタッチして、本体の電源を切ります。
 - 2) 電源ケーブルを外します。
 - 3) オートクレープ対応延長チューブを本体から外します。
 - 4) アルコールタイプのウェットティッシュまたはノンアルコールタイプのウェットティッシュに市販の消

取扱説明書を必ずご参照下さい。

消毒薬を含ませて、装置外側の表面を拭きます。消毒液を選ぶ際には、殺菌作用、殺酵母作用、殺結核菌作用、殺ウイルス作用のすべてを備えた消毒剤を選んでください。拭き取りによる消毒の終了後に、本体に汚れが残っていないかどうかを目視で確認してください。必要な場合は、拭き取りによる消毒をさらに行います。

3. 点検に係る事項

- (1) しばらく使用しなかった本機器を再使用するとは、使用前に必ず本機器が正常にかつ安全に作動することを確認して下さい。
- (2) 故障したときは勝手にいじらず適切な表示を行い、修理は専門家にまかせて下さい。

4. カフの使用前に以下について点検を行うこと。

- (1) カフ・延長チューブに物理的損傷（破れ、裂け目、穴あき）がないこと。
- (2) C P Cコネクタの欠損、破損、Oリングの欠損、破損がないこと。
- (3) リボンが避けていたり、欠損していないこと。
- (4) ベルクロ（マジックテープ）部の25%以上に洗浄しても取れない繊維が付着していないこと。
- (5) ベルクロ（マジックテープ）部のオス部が欠落していないこと。
- (6) 手術中にカフの閉塞を維持できないようなその他の物理的变化や損傷がないこと。

※バッテリーの廃棄

- ・バッテリーは、適切にリサイクルまたは廃棄すること。

[包装]

上記構成成品を紙製ダンボールにて包装。(1台/単位)

[製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等]

氏名又は名称

C B C 株式会社
第二種医療機器製造販売業
東京都中央区月島2丁目15番13号
1 3 B 2 X 0 0 0 7 8
Tel. 03-3536-4823

緊急連絡先

C B C 株式会社
東京都中央区月島2丁目15番13号
Tel. 03-3536-4823
Fax. 03-3536-4743

[海外の製造所の氏名又は名称及び住所等]

VBM Medizintechnik GmbH
ドイツ国

※本添付文書は予告なしに変更することがあります。

取扱説明書を必ずご参照下さい。

